

映画『遠い山なみの光』原作

カズオ・イシグロ

「存在をめぐる葛藤が自分を動かす」

ノーベル文学賞受賞者で、日本でも人気の作家として知られるカズオ・イシグロ。5歳まで日本で暮らし、後に英国籍を取得した同氏だが、作品づくりにおいては、家族の影響、とりわけ母親からの影響が強くあるという。世界とのつながり、世界の中での居場所を作品のテーマとするイシグロ氏が作品に込める思いとは。また自身を突き動かし、作品の原動力となっているものは何か——CNNが話を聞いた。



インタビュアー

クリスティアン・アマンプール イラン人の父と英国人の母を持つ。生まれ はロンドンだが、幼少期をテヘランで過ご す。英国でジャーナリズム養成講座を修了。 渡米し、ロードアイランド大学でジャーナリ ズムを専攻、首席で卒業。1983年、CNN に 入社。数々の紛争地帯で現地取材を行い、 ジャーナリストとして高い評価を得る。 2021 年に卵巣がんで卵巣の摘出手術を受けたこ とを発表。現在も第一線で活躍する。



カズオ・イシグロ

1954年長崎生まれの日系イギリス人作家。 5歳で家族とイギリスへ渡り、後に英国籍を 取得。1982年に作家デビュー。代表作『日 の名残り」で1989年にブッカー賞を受賞し、 世界的な評価を確立した。2017年にはそ の文学的功績が認められ、ノーベル文学賞 を受賞。記憶や時間、アイデンティティーを テーマにした作品を多く発表、映像化もさ れている。



(54) 天性の話し上手だった母

[The] Cannes Film Festival has begun. Among the films premiering this year [is] A Pale View of Hills,* an adaptation of the first novel of Nobel laureate Kazuo Ishiguro. That follows a Japanese family who move from postwar Nagasaki to suburban England. Back in 2021, after the publication of his most recent novel, Klara and the Sun,* Ishiguro spoke to Christiane about the powerful influence of family on art.

Christiane Amanpour Let me talk about your family, because, you know, this book—I'll read—is "In memory of my mother Shizuko Ishiguro." She was the first person that you called when you were told that you won the Nobel Prize. And she was very important in your life in terms of leading you to books and literature. Talk to me about that. Your early years were in Japan, right?

Kazuo Ishiguro Yes. I came from Japan to Britain at the age of 5. When I was a teenager, I didn't do very much reading, but my mother was a natural storyteller. She wasn't a literary person, but she was a very natural storyteller. She would very spontaneously go into telling stories, either about her own experiences in Japan or her growing up. Or, indeed, she would act out scenes from books or Shakespeare plays.

She was the person who introduced me to Dostoyevsky, when I was about 16 or 17. I didn't really want to read a gloomylooking book about Russians, but she persuaded me that it was actually about a student who was going out of his mind, and

《タイトル》きずな、つながり

the Cannes Film Festival:

カンヌ国際映画祭

premiere:

プレミア上映される、初演さ れる、初演となる

adaptation:

(原作小説などの) 脚色、改作

Nobel laureate:

ノーベル賞受賞者 ▶カズオ・ イシグロは2017年にノーベ ル文学賞を受賞。

postwar:

戦後の ▶第2次世界大戦後 を指す場合が多い。

suburban:

郊外の、都市近郊の

in memory of:

~をしのんで、追悼して

call:

~に電話をかける

in terms of:

~という点で

natural:

生まれながらの、天性の

storyteller:

語り部、話し上手

literary:

文学に通じた

spontaneously:

心の弾みですぐに、自然に、 何気なく

act out:

~を身ぶりを交えて話す、演

introduce A to B:

AをBに初めて触れさせる gloomy:

暗い、陰気な

persuade...that:

~だと…を口説き落とす、 ~だと…に信じさせる

go out of one's mind:

正気を失う、気が狂う

カンヌ国際映画祭が開幕しました。今年プレミア上映される映画の1つ が、ノーベル賞受賞作家、カズオ・イシグロ氏のデビュー作を脚色した 『遠い山なみの光』です。物語では、戦後の長崎からイングランドの都市 郊外に移り住んだ日本人家族が描かれます。2021年、最新作『クララ とお日さま』の刊行後に、イシグロ氏は芸術活動における家族の強い影 響についてクリスティアン(・アマンプール記者)に語りました。

クリスティアン・アマンプール ご家族について聞かせてください。とい うのも、この小説には――読み上げますね――「母・石黒静子をしのん でしとあるからです。お母さまは、ノーベル賞を受賞したと告げられたと きに最初に電話した相手でしたね。そしてお母さまは、あなたの人生に おいてとても重要な存在でもありました、あなたを読書や文学に導いた という点で。その話をしていただけますか。幼少期は日本におられまし たよね。

カズオ・イシグロ ええ。日本から英国に来たのは5歳のときです。ティ ーンエージャーの頃は本はあまり読みませんでしたが、母は生まれなが らの語り部でしてね。文学に通じた人ではありませんでしたが、天性の 話し上手でした。ごく自然にストーリーを語り始めるのが常でした、自分 の日本での体験や生い立ちについて。あるいは、よく小説やシェイクス ピア劇のシーンも身ぶりを交えて再現してみせたりしたものです。

ドストエフスキーを教えてくれたのも母でした、私が16歳か17歳の ころです。ロシア人を描く暗そうな本など正直読みたくありませんでし たが、母に口説き落とされたんですよ、これ(『罪と罰』)は実は正気をな くしていく1人の学生の話だ、と。で、私は思いました、そういうことなら かなりかっこよさそうだし面白そうだ、と。それ以来ドストエフスキーは

- A Pale View of Hills 『遠い山なみの光』 日本アカデミー賞最優秀監督賞など多数の受 賞歴がある石川慶の監督作品。主なキャスト は広瀬すず、二階堂ふみ、吉田羊、松下洸平、 三浦友和。カズオ・イシグロは1982年にこの 映画の原作小説で長編デビュー、王立文学協 会賞を受賞した。
- Klara and the Sun 『クララとお日さま』 ノーベル賞受賞後第1作となる2021年の作品。 「AF(人工親友)」と呼ばれるAI搭載人型口 ボットと病弱な少女との交流を描く。



第78回カンヌ国際映画祭 「ある視点」部門正式出品作品 『遠い山なみの光』

ある女が語り始めたひと夏の記憶 その物語には心揺さぶる"うそ"が隠されていた 1950年代長崎と1980年代イギリスを生きる3人の女たちの 知られざる真実に涙あふれる、感動のヒューマンミステリー 9月5日(金) TOHOシネマズ日比谷他 全国ロードショー

配給:ギャガ ©2025 A Pale View of Hills Film Partners